

G OVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2830地区 2025-26 ガバナー月信

No.1 **7**
JULY

国際ロータリー第2830地区 2025～26年度 地区研修・協議会



contents

1. ガバナー挨拶
5. 直前ガバナーへの感謝の言葉
6. 委員会活動
8. 各クラブの動き
12. 地区事務所スタッフのご紹介
14. 会員動向(入会者・退会者、寄付等)
16. 会員数の増減と出席率
17. 地区行事予定
19. みなさんのロータリー活動を月信の表紙に～写真募集のお知らせ～
19. 「クラブアクションプランチャンピオン」ご推薦のお願い
19. Japanポータルサイトのご紹介
19. 編集後記

よいことのために
手を取りあおう



国際ロータリー第 2830 地区事務所
〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内
TEL.017-732-2830 / FAX.017-732-2831
E-MAIL rid2830@outlook.jp

ガバナー挨拶

ガバナー 米谷 恵司

2025年度ロータリー新年度を迎えガバナーを拝命いたします米谷恵司（よねやけいじ）です。

まず初めに自己紹介させていただきます。1960年10月29日青森市生まれ、現在64歳です。

青森県立青森東高等学校を卒業後、千葉工業大学機械工学科入学、卒業後は千葉県企業に就職後、昭和62年地元青森市にUターンし家業である自動車販売整備業に従事し現在に至っております



ロータリー歴は2005年1月青森モーニングロータリークラブ入会。本年7月でロータリー歴20年6ヶ月になります。人間で言うとうまく成人というところでしょうか？亡き父もクラブ会員でしたが、病気の為退会を余儀なくされ一年後私に矢の刃が当たり入会に至った訳です。その辺の入会のいきさつは今後発刊される「ロータリーの友」「ガバナーの横顔」をご覧ください。入会後は2011-12年度クラブ会長、2015-16年度鈴木唯司年度地区幹事長、2017-18年度佐々木千佳子ガバナー年度に中グループガバナー補佐、2019-25年度地区RLI委員長を歴任しておりました。

その他の要職として（一社）青森県自動車整備振興会理事、青森県自動車整備青森協議会副会長、こくみん共済COOP青森県指定整備工場会会長、（公社）青森法人会副会長、（一財）青森県交通安全協会理事、青森交通安全協会副会長、東北合気道連盟副会長、青森県合気道連盟会長、青森地区保護司等を務めており、その役職それぞれの立場において人脈を広げ自己研鑽に努め人間の成長を目指しております。

さて、今年度より国際ロータリーではRIテーマを掲げず継続性を持ったメッセージのみが発表されました。それが「よいことのために手を取り合おう」です。2月8日からアメリカ合衆国フロリダ州オーランドにて開催された国際協議会で発表がなされました。分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人々を結び付け、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーはより良い人間となり人々に奉仕し、末永いインパクトをもたらすよう私たちを鼓舞します。本日この会場を後にする際には、地区でロータリーを成長させるための最善の戦略を学ぶことに焦点を当ててください。ロータリーはこの協議会に多大な時間と資金を投じてきましたが、それはスピーチや派手な演出のためではなく、皆さんが効果的にリーダーシップを発揮するための手段を身につけていただくためです。この投資から得られる見返りは、金銭で測られるものではなく、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことによって測られるでしょう。そして、この使命を遂行するにあたりロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取り合えるロータリーを築き、すべての人にとって明るい未来を実現させましょう。

20分位の長いとは言えないメッセージではありましたが、大変感動した記憶が今でも脳裏に焼き付いております。その1週間に及ぶ研修を修了し帰国後、私は以下のような地区スローガンにすることを決定いたしました。

『ロータリーの不易流行』

不易流行とは時代や状況に応じて変化する「流行」と変化しない「不易」を調和させた概念で、江戸時代前期の俳諧師松尾芭蕉が提唱した俳諧の理念です。本来相反するものでありますが根本はひとつという考え方です。ロータリー活動においても「不易流行」の精神、考え方は同様だと思います。

1905年にロータリーが誕生して今年で120年になります。この長い歴史の中でロータリーは変化したのでしょうか？ロータリーは変わってしまったというロータリアンがいらっしゃいますが、当然変わらなければ存続していけないのが世の常であります。しかし変わらない事もあるはずで、それはロータリーの本質である「奉仕と親睦」だと考えます。

進化論を唱えたチャールズ・ダーウインは「生き残る種とは最も強いものではない。最も知的な物でもない。それは変化に最もよく適応したものである」と言われています。まさにロータリーもその時代と共に変化し、変革して現在に至って存続し続けていると考えます。同志ロータリアンの皆さん今こそ変化し、変革して参りましょう。そして基本方針及び重点項目を次のように掲げました。

○基本方針『会員増強で地区・クラブの活性化を!!』

○重点項目『会員増強（会員数）…1,150名』

次に会員増強の必要性和相乗効果について記述いたします。

★健康的なクラブ

クラブが元気になります。そして変化しながら成長します。今の時代安定はありえません。衰退か成長です。会員の多様な考え方や経験は革新を促し地域のニーズを見極めるうえで欠かせないものです。

★奉仕活動の拡大と多様化

会員が増えることで、奉仕プロジェクトが可能になります。規模を拡大出来るだけでなく、新しいアイデアや専門知識を生かした多様な活動が可能になります。

★クラブの活性化とリーダーの育成

新たな会員が加わることで、クラブ内の交流が活発になり、新たなリーダーが育つ機会も増えます。これはクラブの持続的な発展に寄与する事にもなります。

ネットワークの強化と地域社会への影響力向上

会員の多様性が増す事でより広域な業界・分野とつながり、地域社会への影響が強まります。また地域との協力関係も築きやすくなります。

2025-26年度地区イノベーションは以下の通りです。

イノベーション

効果・理由

地区委員会副委員長制度の新設⇒⇒⇒⇒委員会運営の継続性、新規委員長のサポート

各グループからの地区出向者の平準化⇒各グループ及びクラブの活性化

会員増強優秀会員、クラブ表彰⇒⇒⇒⇒会員増強の更なる強化、「やる気の喚起」

各グループより1名の増強委員出向⇒⇒グループの結束、団結

地区内全ロータリアンがマイロータリーの登録⇒ロータリーの知識、興味の増大

全ロータリアンロータリーカードの登録、使用⇒ポリオ根絶活動の推進（使用金額の0.3%~0.5%がポリオに自動寄付）

3year rolling goalsの推進⇒⇒⇒⇒継続性の重視

クラブサポートミーティング推進の検討⇒⇒地区とクラブとの絆の構築

以上出来る事から始めよう!!!

そして共にロータリーを愉しんで参りましょう。1年間宜しくお願い申し上げます。

このガバナー月信7号の私が担当の原稿がほぼ完成間近の最中RI会長エレクト「マリオ・セザール・マルチンス・デ・カマルゴ」氏の突然予期せぬ辞任が発表されました。RIはRI章典に基づき、理事会は2023年8月に行われた国際ロータリー会長指名委員会によって検討された候補者の中から、日本時間6月13日（金）未明新たな会長を選出いたしました。RI会長名はフランチェスコ・アレツツォ氏（イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属）です。アレツツォ氏は矯正歯科医として個人の診療所を構え、イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーとして国際的に活動しています。ラグーザ県のNational Association of Italian Dentistsの副会長であり、National Trust for Italyの創設者であり、同団体で7年間ラグーザ県の代表を努めました。また、マルタ主権騎士団内の名誉と献身の騎士です。30年以上ロータリアンとして合同戦略計画委員会副委員長、RI理事、ラーニングファシリテーター、地区大会会長代理を歴任したほか、ロータリー財団ベネファクターでもあります。アナ・マリア・クリシオーネ夫人は観光業会の起業家で、お二人の子供がいます。

さて、先に記載した2025年国際協議会で発表された2025-26年度RI会長メッセージ「よいことのために手を取り合おう」はそのまま継承されます。このメッセージは、政治、地理、イデオロギーでますます分断されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは様々な背景を持つ人々（人種、宗教、職業を超えて）をつなぎ、地域社会でよいことを行うおう共通の使命の為に活動いたします。

以上のRI方針を受け今年度の地区スローガン、基本方針、重点項目等は変更する事なく活動できる事に安堵しております。

さて7月は「母子の健康月間 (Maternal and Child Health Month)」です。

2014年10月RI理事会は、当初4月を重点分野：「母子の健康月間」としました。5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率の削減より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事する事を目指す専門職業人のための奨励金の支援を強調する月間です。2022年RI理事会 (2022年10月) で4月から7月に変更になりました。

今月「母子の健康月間」として私たちロータリアンが特に注目すべき大切なテーマです。世界には基本的な医療を受けることができずに命を落とす母親や子供たちが数おおく存在します。我々ロータリーはこうした現実を目に向け、持続可能な支援を通じてすべての命が平等に尊ばれる社会に実現を目指しています。私たち一人ひとりが、このテーマに関心を持ちできる行動を考える事が、命をつなぐ一歩になります。母子の健康を守るためには単に医療を提供するだけでなく、清潔な水、栄養、教育、そして地域社会の理解と協力が欠かせません。ロータリークラブは地域に根差したニーズを見極め、現地の人々と問題解決に取り組むことを大切にしています。7月を「母子の健康」について考える月とし、クラブでの例会や活動を通じて、この大切なテーマに取り組んでいきましょう。



花田勝彦直前ガバナーへ感謝の言葉

ガバナー 米谷 恵司

花田直前ガバナー本当に一年間大変お疲れ様でした。正にこの一年間東奔西走の活動ぶりには目を見張るものがあります。そんな行動に心より感謝と敬意を表したいと思います。

地区内外の行事でご一緒させていただく機会が度々ありましたが、卓越したリーダーシップ、決断力、判断力等、日本34地区内屈指のガバナーであったと自慢できる活躍ぶりであったと自慢できるのは私だけではないかと思います。任期最終段階でのRIYEM青森会議でも全国に2830地区青森を十分にPR出来たことと思います。次年度以降はロータリーコーディネーター補佐として全国ネットでの活躍をご祈念申し上げます。

今年度はワンイヤールールから脱却して3年目として益々『3YEAR ROLLING GOALS』（継続性）を重視して活動して参ります。成田俊介ガバナーエレクトにスムーズにバトンをつなげるよう精進して参りますので、今後とも特段のご指導を賜りますようお願い申し上げます。感謝の挨拶とさせていただきます。



委員会活動

RLI研修を終えて

RLI委員長 三浦 真介
(弘前RC)

5月24日(土)～25日(日)、委員長として本年度最初で最後となるRLI研修を開催させていただきました。

しかし実際には2月に八戸で行われた職業奉仕フォーラムや、3月のPETS分科会など、直接間接的に当委員会に関わる場面はあったので、適宜ファシリテーター研修会を開催するなど準備に努めながら当日を迎えたつもりではありました。

しかし振り返ってみれば運営に精一杯となっ
てしまったことで、思うようなグループ分けや担当割ができずに当日変更が重なり、万難を排してご参加いただいた会員各位やファシリテーターの方々にはご迷惑をおかけするとともに、柔軟な対応を頂いて助けられることとなりました。

今回はロータリーの初歩から入ろうという考えから初日にパートI、2日目にパートIIという日程を組みましたが、参加者には在籍年数の長い会員も多く、クラブの伝統と国際ロータリーとの方向性との間で苦慮しながらの知恵や提案の数々に触れることができるとともに、行きがかり上、今回初めてファシリテーターを経験せざるを得なかった方々も何名か誕生し、運営責任者としては大変申し訳ない思いもございましたが、結果としては実践の場を最大の研修の機会として得ることができたとも言えました。

反省点は多々ありますが、次回は新会員等にも一層の呼びかけを行うとともに、ファシリテーター候補者や経験者ももっと増やしていかなければならないとも考えています。

またRLIはPETSやDTAのような強い出席義務のある研修としては捉えられていないのがまだまだ実状であり、プログラムの性質上、一定の日時を拘束しなくてはならなくなるため、運営方法にも一層の柔

軟性や試行錯誤を要する一方、興味や理解の拡充にも努めていかなければなりません。

しかし先述したフォーラムや三大研修等において、RLI形式はクラブリーダーや地区委員等には徐々に馴染んできている部分もあるため、参加者とファシリテーターが双方において向上し合えるような手法と関係性を積み重ねていきたいものです。

ロータリー活動もご多分に漏れず、直接触れたり行動



したりしてみないとわからないところがあるので、とにかく同じ体験をした仲間内だけの共通言語で話してしまいがちになってしまいますし、そうして未体験の会員とは一層の隔たりが生じてしまい、伝えること自体を疎かにしてしまいがちです。

だからこそ、RLI(というわかりにくい横文字)をよりわかりやすく説明し、理解していただくための方策や参加意識の向上について、懇親会の場合でも各テーブル毎にRLI形式にて話し合っていた結果、予想以上に真剣に課題に向き合っていました。



そうした点からも、やはりRLI形式による話し合いは高度な提案や別次元のアイデア等を生み出し得るものなのであり、一方的な説教や論破のような恨みや後味の悪さを残さない手法として着目すべきなのです。

とはいえ懇親会でのグループセッションがいくら盛り上がったとはいえ、結局はほとんどの会員が酔っていて細かいことを覚えていないという落とし穴もあったわけであり、各セッションにはなぜ

書記や記録係が必要なのかという理由をも身をもって体験することとなりました。

さて、報告は以上の感じとなりますが蛇足ながら、今回のRLI研修の日時が確定して準備を進めていた間に、インターアクト(IAC)年次大会と初日日程の大部分が重なることを知らされた件について、誤解等のなきよう所感を補足いたします。

私としては自らが所属するクラブの関わる年次大会でもあったため、後から知っていろいろと思うところはあったわけですが、自身としては地区委員長としての当初の計画を粛々と進めていくべき立場と自認し、初日のスケジュールを少し軽くするなど一定の配慮はしながらも遂行するに至りました。

ロータリーの行事はどうしても土日集中してしまうため、いかなる計画も他の事情とぶつかったり重複したりしてしまうことは想定範囲内であり、そうした困難な条件の中でも果たすべき使命はあるはずですが、全体の最適化や協力関係のためにも、当事者同士が「既に決まったことだから」ではなくて改めて集まってお互いの融通や妥協等の道筋を探り出していく経緯や機会も、今思えば持てたらよかったのではと思うところもあります。

今回、IAC年次大会の担当者や責任者がRLIの懇親会や2日目の研修会にわざわざ駆け付けてくださったことには大いに感謝し、感心をする者でもあるからこそ、今後のためにも行事が重複してしまった場合の再検討のあり方として提案しておきたいと思うとともに、結果としては、如何なる不利な状況下にあれども突破し得たという経験は、委員長1年目にして得難い通過儀礼であったとも言えるのかもしれません。



各クラブの動き

第57回インターアクト年次大会を終えて

第57回インターアクト年次大会実行委員長 小林 大眞
(弘前RC)



2025年5月24日、弘前市りんご公園にて当クラブ提唱の弘前学院聖愛中学高等学校インターアクトクラブ(IAC)がホストクラブとなり第57回インターアクト年次大会が開催された。

地区内からは96名のインターアクター、11名の顧問教諭、ロータリアンを含めると162名となる多数の方に参加を頂いた。午前は各IACからの活動報告があり、昼食はバーベキュー交流大会と銘打って小雨となったものの屋外で大いに参加者同士が交流を深める機会となった。午後はプログラムのメインである宮下宗一郎青森県知事を囲んでの座談会。テーマは「宮下宗一郎知事と語ろう! 未来の私たちの青森県について」です。事前に提出した知事への要望書をボックスに入れ、知事が抽選形式で引き当てた要望書をインターアクター自身がその内容を読み上げその内容について一問一答で対話を進めた。多数のメディアも駆けつけて知事の入場から会場内は熱気に包まれ、インターアクターの表情も一段と引き締ま



り、自身の要望書を引き当てて欲しいとの期待感が感じられた。知事の丁寧な受答えと他のインターアクターからの要望内容を聞き、それぞれが自身の今後へのエールと青森県の未来について共に考える貴重な時間となった。座談会終了後の岩木山を背景に知事を囲んでの記念撮影は参加者の良き思い出となったことでしょう。

終日ホストクラブとして活躍してくれた弘前学院聖愛中学高等学校インターアクトクラブの皆さんの元気溢れる行動力に感心するばかりで、それぞれが主体的に役割を熟す姿に心強さが感じられた。時間の都合で知事への要望書は全て読み上げることが出来ませんでしたが、それぞれのインターアクターの要望書は一枚一枚大切な宝物であり、私たちへの示唆でもあり今後の活動に役立てたい。



多くの皆様からのご理解とご協力により本大会が無事終わることが出来ましたことに心から感謝と御礼を申し上げ、またインターアクターとの共創・協働から多くの気づきを頂く機会となったことに重ねて感謝申し上げます。
参加インターアクター一人ひとりの今後の更なる活躍がロータリアンの願いです。



各クラブの動き

インターアクト年次大会開催報告

インターアクト委員 松山 隆志
(野辺地RC)

5月24日(土曜日) 弘前市りんご公園内「りんごの家」において、第57回インターアクト年次大会 弘前大会が開催されました。地区内10校の各校インターアクトクラブ(以下IAC)より顧問教諭11名、インターアクター94名の参加、花田ガバナーをはじめとするロータリアン55名の登録を頂き大盛況の大会でした。

この大会は第2830地区インターアクト委員会の3大事業のひとつとして、年に一度地区内IACのメンバーが一堂に会し、日頃のそれぞれの活動についての情報を報告し合うとともに、各種実習等を共働することによって学校の枠を超えた友情と親睦を深めることを目的として、地区内各グループ毎の輪番により各校IACにホストクラブを担当していただきその提唱クラブとともに企画・実施して頂いているものです。今年度は西第2グループ弘前RC様及びその提唱クラブである弘前学院聖愛中学高等学校IAC様に担当いただきこの日の開催となりました。まずもって同クラブ及び同校IACに対し感謝申し上げます。



午前10:00、聖愛高校IAC落合会長の開会点鐘により開会、つづいて各校IACの活動報告が発表されました。地域においての各種奉仕活動、非行防止防犯活動、RCが推進するポリオ撲滅推進活動、地震災害等へ対する義援金募金活動、地域のイベント等に対する協力活動、独居老人宅への除雪奉仕作業などなど、各校とも地域に根ざした活動を工夫しながら積極的に実施している様子をスライドを駆使しながら報告していました。ここ数年、コロナ禍の影響により多くのIACが活動の縮小・休止を余儀なくされていたことを耳にしていたので、今回発表された各校の活発な活動報告にホッとした印象でした。参加のインターアクター達も他校の活動を興味深く聴いていたようでした。



お昼の昼食は屋外に出でのバーベキュー交流大会。この時間「ちょっとだけ」小雨がぱらついてしまいましたが、弘前RCメンバーの方々のご厚意による美味しい焼肉、焼きイカ、野菜、おそば、かき氷など多彩なメニューに参加者全員お腹いっぱい、楽しみながら他校の生徒とも大いに交流を深めることが出来ました。

午後は宮下県知事をお迎えしての座談会。「宮

下宗一郎知事と語ろう！未来の私たちの青森県について」と題して、予めインターアクターたちから出された要望書を知事に抽選形式で引いていただき、その内容について一問一答で対話しました。全員が車座になり、進行役と知事とのテンポの良い進行の下、高校生の様々な「思い」について、知事が時折辛口の提言を交えながらユーモアたっぷりに答え、あっという間に予定時間が過ぎていきました。自分たちと近い年代の知事との中身の濃い対話は、高校生世代の参加者たちに「何か」を気づかせてくれた一時だったと感じました。



知事との対話終了後、全員が館外に出て雄大な岩木山をバックに記念撮影。素晴らしい景観のこの地で大会が開かれたことを実感でき、各人ここでも知事と自由に会話ができました。

館内に戻っての感想発表会では、マイクを握ったインターアクター達から「他校の活動を聞いて刺激になった」「自分たちも出来ることもあるのが分かった」「他校のインターアクター達と触れ合うことが出来て楽しかった」という言葉が相次ぎ、年次大会開催の当初の目的は達成できたものと確信できました。参加インターアクターの方々にとっても大変有意義な大会だったと思います。

今回の大会、ホストを務めて頂きました聖愛高校 IAC 様及び弘前 RC 様のご都合によりこの時期の開催となりましたが、次回は令和 8 年 7 月か 8 月頃、南グループの方々に開催をお願いしております。日程等が固まり詳細が決まりましたら地区委員会からもお知らせいたしますので数多くの IAC、ロータリアンの方々のご参加をよろしくお願い致します。✂ 末筆ですが、今回素晴らしい大会を企画・運営いただきました弘前 RC 様および聖愛高校 IAC 様にあらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。



地区事務所スタッフのご紹介



地区幹事長
最上 伸子
(青森モーニングRC)
総括・
国際大会推進委員長



地区副幹事長/地区財務委員長
橋 正弘
(青森モーニングRC)
PETS実行委員長
表彰担当委員長



地区会計長
藤井 健二
(青森モーニングRC)
DTLS実行委員長



地区幹事
阿保 康雄
(青森モーニングRC)
各種大会・研修等
副アドバイザー



地区幹事
新屋 督志
(青森モーニングRC)
ガバナー公式訪問
担当委員長



地区幹事
大森 賢二
(青森モーニングRC)
表彰担当副委員長



地区幹事
川岸 淳子
(青森モーニングRC)
地区大会実行委員



地区幹事
川村 智
(青森モーニングRC)
地区大会実行委員長



地区幹事
坂井 哲博
(青森モーニングRC)
RI会長代理歓迎晩餐会
各懇親会担当委員長
DTA副実行委員長



地区幹事
須藤 一幸
(青森モーニングRC)
地区大会副実行委員長
GE壮行会実行委員長



地区幹事
高橋 修一
(青森モーニングRC)
DTA副実行委員長



地区幹事
土橋 伸行
(青森モーニングRC)
ガバナー公式訪問担当
副実行委員長



地区幹事
富田 啓
(青森モーニングRC)
GE壮行会
副実行委員長



地区幹事
福士 晴也
(青森モーニングRC)
地区大会実行委員
RI会長代理歓迎晩餐会・
各懇親会担当委員



地区幹事
細井 仁
(青森モーニングRC)
GE壮行会
副実行委員長



地区幹事
本堂 きみゑ
(青森モーニングRC)
PETS副実行委員長



地区幹事
山崎 結子
(青森モーニングRC)
表彰担当副委員長
担当委員



地区幹事
渡邊 啓太郎
(青森モーニングRC)
地区大会実行委員
ガバナー公式訪問



地区幹事
木村 義正
(青森RC)
各種大会・研修等
アドバイザー



地区幹事
石川 佳共子
(青森RC)
ガバナー月信・各種
報告書担当委員長



地区幹事
伊藤 幸生
(青森RC)
DTA実行委員長



地区幹事
日下 稔
(青森RC)
ガバナー月信・
各種報告書担当
副委員長



地区幹事
佐藤 一尚
(青森RC)
RI会長代理歓迎晩餐会・
各懇親会担当副委員長
昼食会担当



地区幹事
田中 正子
(青森RC)
ロータリーの友
地区代表委員



地区幹事
三浦 基
(青森RC)
DTLS副実行委員長



地区幹事
野呂 潤
(青森中央RC)
RI会長代理歓迎晩餐会・
各懇親会担当副委員長
表彰担当副委員長



地区幹事
蒔苗 亜希子
(青森北東RC)
ガバナー月信・各種
報告書担当副委員長

1年間よろしくお願いいたします

会員動向

入会者



中川 晋也
(三沢RC)
5月13日入会



小野 麗華
(弘前RC)
5月12日入会



加藤 基弘
(青森RC)
5月 8日入会



立田 哲也
(青森RC)
5月 8日入会



玉井 忠博
(青森RC)
5月 8日入会



渡邊 啓太郎
(青森モーニングRC)
5月13日入会



小石川 朋弘
(八戸RC)
5月14日入会



萩野 由美
(八戸東RC)
5月30日入会

退会者

クラブ名	氏名	退会日
六ヶ所RC	小野 眞一郎	5月31日
鯉ヶ沢RC	菊谷 忠光	4月30日
八戸RC	松坂 和治	5月21日

ロータリー財団寄付



岡山 信広
(六ヶ所RC)
PHF+8



小林 俊一
(青森RC)
PHF+5



橘 正弘
(青森モーニングRC)
PHF+1



最上 伸子
(青森モーニングRC)
PHF+1



吉田 賢治
(八戸南RC)
PHF+3



橋本 修
(八戸南RC)
PHF



下田 正志
(八戸南RC)
PHF



松橋 満幸
(八戸南RC)
PHF



中村 澄
(八戸南RC)
PHF



櫻田 泰規
(八戸南RC)
PHF



福田 弥夫
(八戸南RC)
PHF



出貝 友吾
(八戸南RC)
PHF

米山記念奨学会寄付

<米山功労者>



関場 慶博
(弘前アップルRC)
第24回メジャードナー

<米山功労クラブ>

弘前アップルロータリークラブ 第3回

十和田東ロータリークラブ 第7回

2025年5月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	5月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ	2	100.00	50	0	0	50	2	50	3	3	28.00
	(うち、むつ大畑)			(8)	(0)	(0)	(8)	(1)	(9)	(1)	(2)	
	野辺地	3	81.72	13	0	0	13	2	13	0	0	100.00
	七戸	3	65.88	14	0	0	14	2	11	3	0	14.29
	東北	3	79.20	16	0	0	16	2	16	0	0	81.25
	むつ中央	3	68.00	21	0	0	21	0	20	1	0	14.29
	六ヶ所	3	74.00	38	1	1	38	1	32	9	3	26.32
	小 計			152	1	1	152	9	142	16	6	
東第二グループ	三沢	3	65.00	20	1	0	21	1	23	1	3	45.00
	十和田	4	100.00	34	0	0	34	9	34	1	1	32.35
	十和田東	4	60.50	30	0	0	30	5	25	5	0	50.00
	おいらせ	1	83.00	6	0	0	6	0	6	1	1	50.00
	三沢東	3	71.90	35	0	0	35	4	34	1	0	31.43
	十和田八甲	3	58.80	85	0	0	85	1	80	7	2	40.00
	小 計			210	1	0	211	20	202	16	7	
西第一グループ	五所川原	4	55.65	58	0	0	58	6	52	6	0	70.69
	金木	3	71.00	12	0	0	12	1	12	0	0	16.67
	鰯ヶ沢	2	71.80	17	0	1	16	2	16	1	1	37.50
	鶴田	2	75.00	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	47.00	24	0	0	24	2	25	0	1	50.00
	つがる	3	54.90	34	0	0	34	0	30	6	2	32.35
	五所川原イヴニング	2	42.00	25	0	0	25	7	25	0	0	56.00
	小 計			178	0	1	177	19	168	13	4	
西第二グループ	弘前	3	100.00	48	1	0	49	5	45	10	6	48.00
	弘前東	2	100.00	10	0	0	10	4	13	0	3	50.00
	(うち、弘前東桜華)			(4)	(0)	(0)	(4)	(2)	(5)	(0)	(1)	
	板柳	2	96.00	12	0	0	12	2	10	2	0	33.33
	黒石	2	73.00	23	0	0	23	3	20	3	0	47.83
	大鰐	3	55.00	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前西	2	100.00	33	0	0	33	6	30	3	0	60.61
	平賀・尾上	2	50.00	9	0	0	9	0	9	0	0	33.33
	弘前アップル	2	76.00	15	0	0	15	2	16	0	1	73.33
	小 計			159	1	0	160	22	152	18	10	
中グループ	青森	4	65.80	102	3	0	105	10	105	14	14	99.05
	青森北東	2	78.90	21	0	0	21	3	22	0	1	66.67
	青森中央	2	100.00	6	0	0	6	1	6	0	0	33.33
	青森モーニング	2	81.60	21	1	0	22	4	21	4	3	63.64
	小 計			150	4	0	154	18	154	18	18	
南グループ	八戸	3	60.30	67	1	1	67	0	65	5	3	40.30
	八戸東	4	100.00	46	1	0	47	1	46	3	2	55.32
	三戸	3	96.00	9	0	0	9	1	9	0	0	88.89
	五戸	3	83.30	12	0	0	12	1	12	0	0	50.00
	南部	3	88.30	9	0	0	9	0	9	0	0	44.44
	八戸北	3	56.60	38	0	0	38	7	38	1	1	52.63
	八戸南	4	65.10	43	0	0	43	13	39	8	4	86.05
	(うち、八戸南さくらエイト)			(11)	(0)	(0)	(11)	(11)	(11)	(3)	(3)	
	八戸中央	3	50.40	18	0	0	18	4	20	0	2	44.44
	八戸西	3	62.80	34	0	0	34	20	33	2	1	47.06
	小 計			276	2	1	277	47	271	19	13	
合 計 40RC				1,125	9	3	1,131	135	1,089	100	58	52.17

※ ()内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2024年6月末会員数です
7月1日の会員数は1,098名です
5月末現在の入退会人数です

地区行事予定 2025年7月／母子の健康月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(火)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東京プリンスホテル
2	(水)	第1回社会奉仕・職業奉仕委員会 ガバナー公式訪問 五所川原RC	ホテル青森 ホテルサンルート五所川原
3	(木)		
4	(金)		
5	(土)		
6	(日)	第15回全国青少年交換委員長会議	AP東京八重洲 + Zoom
7	(月)		
8	(火)	ガバナー公式訪問 つがるRC ガバナー公式訪問 金木RC	つがる市商工会館 2F 奴寿し
9	(水)	ガバナー公式訪問 八戸RC	八戸グランドホテル
10	(木)		
11	(金)		
12	(土)		
13	(日)	第1回諮問委員会 第1回ロータリー財団セミナー 第1～3地域合同 公共イメージ向上オンラインセミナー2025	ホテル青森 ホテル青森 オンラインセミナー
14	(月)	ガバナー公式訪問 弘前RC	RAGLEY (ラグリー)
15	(火)	ガバナー公式訪問 南部RC	南部町農業漁業体験実習館「チェリウス」
16	(水)		
17	(木)	ガバナー公式訪問 鰺ヶ沢RC	水軍の宿
18	(金)		
19	(土)		
20	(日)		
21	(月)	海の日	
22	(火)		
23	(水)	ガバナー公式訪問 五所川原イブニングRC	ホテルサンルート五所川原
24	(木)	ガバナー公式訪問 五所川原中央RC	ホテルサンルート五所川原
25	(金)		
26	(土)		
27	(日)		
28	(月)	ガバナー公式訪問 弘前アップルRC	弘前総合学習センター
29	(火)		
30	(水)		
31	(木)	ガバナー公式訪問 むつRC	むつグランドホテル

地区行事予定

2025年8月／会員増強・新クラブ結成推進月間

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(金)		
2	(土)		
3	(日)		
4	(月)		
5	(火)	ガバナー公式訪問 大鰐RC	山忠会館
6	(水)	ガバナー公式訪問 弘前東RC	アートホテル弘前シティ
7	(木)	ガバナー公式訪問 十和田東RC	サン・ロイヤルとわだ
8	(金)		
9	(土)		
10	(日)		
11	(月)	山の日	
12	(火)		
13	(水)		
14	(木)		
15	(金)		
16	(土)		
17	(日)		
18	(月)		
19	(火)	ガバナー公式訪問 十和田RC	サン・ロイヤルとわだ
20	(水)	ガバナー公式訪問 八戸中央RC	八戸プラザホテル
21	(木)	ガバナー公式訪問 七戸RC	七戸商店会協同組合 2F
22	(金)		
23	(土)		
24	(日)		
25	(月)	ガバナー公式訪問 青森中央RC	ホテル青森
26	(火)	ガバナー公式訪問 板柳RC ガバナー公式訪問 平賀・尾上RC	板柳町商会館 2F 南田温泉ホテルアップルランド
27	(水)	ガバナー公式訪問 青森北東RC	ホテル青森
28	(木)	ガバナー公式訪問 青森RC	ホテル青森
29	(金)	ガバナー公式訪問 三戸RC	田岩本店
30	(土)		
31	(日)		

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に!写真募集!!

みなさんのロータリー活動をガバナー月信の表紙に載せてみませんか?
2024-25年度ガバナー月信同様に、各クラブでのロータリー活動を撮影した
写真で毎号の表紙を飾りたいと思います。

掲載希望の写真は、地区事務所に掲載希望月の前月15日までに写真データと
写真の内容を簡潔にまとめたものをメールでお送りください。



「クラブアクションプランチャンピオン」ご推薦のお願い

2025-26年度の各クラブにおいてアクションプラン（行動計画）を推進する役割を担う「クラブアクションプランチャンピオン」の推薦を改めてお願いしますので、宜しくお願いします。

Japanポータルサイトのご紹介

地区やクラブへのロータリーの様々情報提供や情報共有をスムーズにそして密にするためにJapan (RI zone 1A,2,3) ポータルサイトがあります。3年間の目標 (3-Year Rolling Goals) やアクションプラン（行動計画）についてなどロータリー活動を推進するための情報が多く掲載されています。

MyRotaryに加え、是非こちらでも活用いただきますようお願いいたします。

スマホはこちらから



編集後記

2025-2026年米谷ガバナー年度を迎えるにあたり、皆さまにご挨拶申し上げます。

新年度スタートにあたりRI会長エレクトの辞任・再選出となり、こうして期日に間に合い発刊でき安堵しています。

米谷ガバナーの協調事項の『会員拡大』は毎月の「会員数の増減表」P16で確認することでお互いの力にできれば嬉しいです。

いよいよ、公式訪問が始まります。

第2830地区のロータリアン・クラブの熱意をこの紙面上でお伝えするお手伝いできればと思っていますので、ご支援・ご協力の程宜しくお願いします。

ガバナー月信 編集後記担当 **石川 佳共子**
(青森ロータリークラブ)